

図解

眠れないほど面白い

世界がわかる 「地図帳」

造事務所

これが世の中を見る「新しいモノサシ」



知的
生きかた文庫

はじめに この一冊で、「今の世界」「10年後の世界」がリアルに見えてくる……3

1章

「お金の流れ」と「国の未来」がわかる

- 「世界で一番平均所得の高い国」は、どこ? 18
- 「物価が一番高い国」は日本。では「物価上昇率が一番」の国は? 20
- 「消費税27・5%」のすごい国が、中米にあつた! 22
- 「憲法改正の回数、405回!」この“非常識な国”は? 24
- 「世界で一番ユダヤ人の多い国」は? 26
- 「2020年代、人口が一番多い国」は? 28
- 「クルド人」と中東の民族分布 30
- 「華僑」「印僑」——世界を動かす二つのグループ 32

- 「世界の3大宗教」——その分布圏は? 34
- 「君主制をとつてゐる31の国々とは? 36
- 「長期政権第1位の国」は? 38
- 「核兵器の保有国」は? 40
- 「じまだ独立していらない「世界最大の植民地」はどこ? 42
- 「人口一人あたりGDP成長率1位の国」は? なんとアフリカの小国 44
- 「1位中国、2位ブラジル」——借金の多さは「成長率のバロメーター」? 46
- 「産業構造」——イスラエルとシンガポールの“意外な共通点”は? 48
- 「高収益企業」「世界1位・2位を独占する業界」は、どの業界? 50
- 「コンピュータ・電機」「世界の二強国」、アメリカ、日本ともう一つは? 52
- 「自動車業界、米、日、独に続く「新興国」とは? 54
- 「ロケット打ち上げ回数1位」——アメリカがロシアより少ない理由 56
- 「人口30万のイスランドが、なぜか「一人あたりの電力消費量1位」 58

面白いほど世界の「暮らしの実態」が見える

- 世界の平均寿命——最高は日本の82歳だが、最低の国は? 62
- 世界一「ゆとりがある国」「ゆとりがない国」——どこの国がわかる? 64
- 国別・人口の男女比 男が女の倍! 「カタール」の不思議な現実 66
- 「離婚率が一番高い国」——アメリカよりも率の高い国がある 68
- 「失業率37・2%」——日本では考えられない「マケドニアの労働事情」 70
- 「大学進学率」 「教育熱心な国」の共通項とは? 72
- 「先生一人に生徒わずか5・5人!」——先生がたくさんいる国は? 74
- 「出生率が高い国、低い国」——出生率が低下、死亡率が上昇する深刻な国とは? 76
- 「高齢者が一番多い国」は? 日本の不思議な共通点 78

- 「同性愛は死刑！」の国——イラン、北朝鮮、リビアのうち、どっち? 80
- 「裁判官が多い国」——さて、日本は? 82
- 「自動車が一人一台の国」——アメリカ社会の「すごい現実」とは? 84
- 「オートバイの保有台数」——なぜ中国、インドの台数が圧倒的に多い? 86
- 「道路の舗装率」——先進国のかなダがなぜこんなにも低い? 88
- 「鉄道の距離が長い国」——国土面積が小さいドイツが3位の訳 90
- 「利用率の高い空港」の順位は?——なぜ、世界一はアメリカのアトランタ? 92
- 「世界の大型小売店チーンは?」——ウォルマート、「驚きの売上高」 94
- 「マクドナルドの店舗数」——1位は当然アメリカ、では「2位」は? 96
- 「一人あたりアルコール消費量」——「1位アイルランド」の理由は? 98
- 「喫煙率」——「欧米で加工され、アジア・アフリカで吸われる」 図式 100
- 「保険の浸透率」——「ルクセンブルクが断然1位」のなぜ? 102
- 「郵便ポストの数」——人口大国のインドと中国で、まったく違う郵便事情 104

「文化」で世界の国の「意外な一面」を知る

- 「労働争議の回数」——2位に7倍以上の差をつけて、ロシアが独走!……106

● 「インターネット普及率1位」はアメリカではない。では、どこ?……110

● 「携帯普及率」世界一は?——

ノキア社のある「フィンランド」で発達した意外な理由……112

● 「世界一パソコンが普及している国」は旧ソ連エストニア——なぜ?……114

● 「衛星放送の普及率」90%の国とは?——

イスラム諸国の「普及率が高い」理由……116

● 「音楽CD/DVD」の売り上げ——アルバムが売れる国、シングルが売れる国……118

● 「映画スクリーンの数」——アメリカより数が多い「ただ一つの国」は?……120

4 章

「世界のこころが問題！」を掴む

- 「新聞の発行部数」 1位中国と3位アメリカの意外な共通点…… 122
- 「ノーベル賞受賞者数」 ——アメリカ人受賞者が3分の1を占める！…… 124
- 「特許申請数1位」は日本、ただ「商品化された特許数1位」はアメリカ…… 128
- 「世界一観光客が多い国・フランス」は、観光収入ではなぜ3位？…… 130
- 「世界遺産の登録数1位」はイタリア、では「意外な2位」は？…… 132
- 「オリンピック金メダル獲得数」 ——成績の差は「資本力の差」…… 126

- 「犯罪の発生率と増加率1位」は？——
- 「死刑が多い国」は？ “悪の3大国家” 北朝鮮・イラン・イラクではない…… 138

拳銃大国・アメリカでも、格差大国・中国でもない…… 136

●「世界一」「マフィア」が多いのは? ロシアン・チャイニーズ・シチリアン……………140

●世界のテロ組織――

「アル・カイーダ」と「アル・カイーダ系」の微妙な違いは?……………142

●「殺人事件が一番多い国」――「世界の危険地帯」はここだ!……………144

●「盗難事件数ワースト3」――泥棒が増える3ヵ国、それぞれの事情……………146

●「刑務所の収容人数」 アメリカが突出して多い “もう一つの理由”……………148

●「警察官が多い国」――シリアとクウェート、治安が悪い理由は?……………150

●「日本6・1%、ヨルダン57・9%」――

「警察への信頼度」でわかること……………152

●「交通事故の死亡率」――中国は8人に一人、インドはなんと5人に一人!……………154

●「航空事故の発生率」――「ある大陸」に集中している、その原因は?……………156

●「海賊頻出海域」――年間175件! 日本のすぐ南に「危険海域」があつた?……………158

●「兵器の輸出国1位」はアメリカ、では「輸入国1位」は?……………160

5 章

今、一番ホットな「環境問題」を読む

- 「軍人の割合」——「20人に1人が軍人の国」がある! 162
- 徹兵制期間の長い国——10年間にも及ぶ国がある 164
- 国防費の支出ランキングは? ——
- 中国の5倍、□シリアの7倍! 米国防費の怖さ 166
- 難民を生む国、受け入れる国——「1年間で1,800万人の難民が生まれる国」 168
- 「国連平和維持活動」——監視体制が60年続く国はどう? 170
- 国連部隊への派遣が多い国 ——
- インド・パキスタンなど南アジア諸国が多い理由 172
- 「ガン」「循環器系疾患」の死亡率 なぜか東欧諸国に多い理由 176

- 「肥満率1位の国」——飽食大国ではない“意外な国”とは?.....178
- 糖尿病患者の多い国——アメリカよりカタールになぜ多い?.....180
- 成人5人のうち約2人が「エイズ感染者」の国——なぜこんなことに?.....182
- 「避妊普及率84%」——「ひとりっ子政策の中国」の現実とは?.....184
- 人口あたりの医師数——最悪は1人の医者で11万人のリベリア.....186
- 「年間14回以上受診」——世界一「病院好きな国民」は?.....188
- 「狂牛病」——「イギリスの牛」になぜ発症牛が多いのか?.....190
- 「鳥インフルエンザ感染者数」——東南アジアに多い明確な理由.....192
- 「石油産出量1位」はサウジアラビア、意外な2位、3位はどこ?.....194
- 「原子力発電の使用量」——京都議定書に協力的な国、非協力的な国の事情.....196
- 「ウラン埋蔵量1位の国」——21世紀の新しい“資源大国”とは?.....198
- 「温暖化」——毎年0・5度前後の上昇、この後どうなる?.....200
- 「二酸化炭素排出量1位はアメリカ」、ところで日本は何位?.....202

- 「オゾン層破壊」——いま、南極上空で恐ろしいことが起きている…… 204
- 「森林減少」が進行している国々——ブラジル、インドネシア、そして…… 206
- 「地形変化」——世界4位の湖が、10年間で「3分の1に縮小」！…… 208
- 2180種類の「絶滅危惧種生物」がいる国とは?…… 210
- 「黄砂」——中国では、交通や農作物に深刻な影響が…… 212
- 「ぐみ排出量」1位は「アメリカ」、では「リサイクルの実施率」1位は?…… 214

コラム——日本の常識、世界の非常識!?

- ①憲法がなくても近代国家はやっていける?…… 60
- ②10人に1人しかトイレの使えない国もある…… 108
- ③ヨーロッパでは、新聞より雑誌文化が強い?…… 134

④政情の不安定が生む、麻薬生産…… 174